



よいことがひろがった



学校内に落ちていたライターを届けてくれました



トイレのスリッパをならべる子

二学期前半の終了が近づいています。

4月から今日までふりかえってみますと「よいことが広がった」という感想が先にあがります。それは校内に落ちていたライターを届けてくれた4年生児童。「やけどする人がでたらかわいそうだから」「火遊びにつかわれたらこわいから」と話していました。また、1年生のトイレの前をとみると、スリッパが乱雑なのを1年生児童が腰をおろして並べていました。さらに飼育委員の6年生児童は一人で汚れた小屋を清掃していました。その他、重たい袋を運ぶ行動や、お客さんを職員室まで案内してあげる等のよい行いがたくさんあったからです。

校長は美点凝視という教育を大切にしています。善い行いをみんなの前で紹介することで、他の子供たちの成長を促します。児童の良さを、一生懸命さを認め、みんなで褒めていく雰囲気をつくり、これからも子どもの善行もっと広げていきたいと思います。



責任をもって飼育小屋の清掃を行います。



重たい袋を協力して運びます。

「なは教育の日」善行児童賞に本校児童選ばれる

12/8 那覇市が主催する「なは教育の日」という行事がありました。

その式典の中で、6年の小谷杏奈さんが善行児童賞に見事選ばれ、教育長から賞状が手渡されました。

おめでとうございます。



12/19表彰朝会で表彰された児童の表彰内容と氏名を裏面でお知らせしています。

活躍した子どもたちを、舞台上上げて表彰できる。教師として本当に冥利につきます。

ただ申し訳ないなという気持ちがあります。受賞の瞬間の目撃は教師が先だということ。できたらその場面をおとうさん、おかあさんに最初に見てもらいたいのに、そこで、表彰されたご家族の皆様にもお子さんの活躍をたよりで伝えたいと考えました。裏面のお知らせをご覧ください。



スクールゾーン委員会で話し合われたこと

12/17 スクールゾーン委員会が開催されました。冒頭国吉会長から、「地獄坂を通行するための申請者がとても多くなっているということ」を聞きました。これは児童の交通安全確保に対する意識が高まってきたということではないでしょうか」というお話がありました。

委員会で確認したことは、①指定時間帯に通行する車両を減らす取組を継続する、②交通看板の補修と、道路の塗装を実施することです。引き続き、登下校における児童の安全確保に努めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。



ー「お小遣い帳」のすすめー

子どもにお小遣いをあげている家庭は多いと思いますが、お小遣いの管理はどのようにしていますか？

子どもに任せている、お小遣い帳をつけさせているなど家庭によってさまざまでしょう。

今回は、子どもの金銭感覚を養える、お小遣い帳について書きます。お小遣い帳のメリットは、まず何にどれだけ使ったかが明確になるということです。そして、残金がわかり、予算を立ててお小遣いをつかおうとする、いわゆる金銭感覚が身につきます。ある著者は「適正な金銭感覚を養う金銭教育は、我が子が将来自立していくために親が必ず行うべき教育の一つだ」と述べています。すでにやっているご家庭もあると思いますが、年末に親子で話してみませんか、お小遣い帳について。